

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年2月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500166
法人名	医療法人 杏林会
事業所名	グループホーム あんずの家
所在地	鹿児島県いちき串木野市桜町39番地1 (電話) 0996-32-8111
自己評価作成日	平成27年10月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=4
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	PO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年10月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームあんずの家は、いちき串木野市のほぼ中心部の住宅街に位置し、日常のいろいろな変化や動きを身近に感じることでできる地域密着型のグループホームです。また近くには公園があり、入所者の方々は散歩に行かれることも多く、グランドゴルフをされる方や子供連れの御家族と触れ合う機会も度々あります。あんずの家の入り口に植えてあるあんずの木は、毎年春になるときれいな花を咲かせ、やがて実になり豊作の年にはジャムを作って皆で頂いています。また季節ごとに花の植え替えや野菜を作ったりして、季節の移り変わりを肌で感じるができるようにしています。現在職員の年齢は、20代～60代まで幅広く18名在籍しており、ひと昔の多世代家族のように和やかな関係を構築しながら、入所者の皆様と一緒に楽しく生活しています。また職員は理念通り、あなたがあなたらしく生きて頂くために、今までのあなたを大切に楽しく過ごして頂けるようにと、日々支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は2ユニットの構成で、近隣に公園があり、散歩の際にはグランドゴルフをしている人や子どもたちともふれあいながら生活できる環境にある。

・職員は「その人らしく」という理念に沿って、利用者個々人の習慣や楽しみを把握したうえで、その人らしい生活ができるように関わっている。特に外出は希望に添えるように柔軟に対応している。

・自治会に加入し、回覧板やホーム便りなどで地域との情報交換も充実しており、地域行事に参加する一方、事業所の夏祭りやクリスマス会の行事にも多くの地域の人々が参加している。さらに、バンド演奏や和太鼓演奏などボランティアの受け入れなども積極的に行い地域交流を進めている。

・災害対策については、定期的に避難訓練を実施している。訓練には運営推進会議の参加者も加わり、地域との協力体制もできている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>あなたがあなたらしく生きていただくために、今までのあなたを大切に・・・の基本理念を共有し日々のケアに活かすように努めています。</p>	<p>理念は事業所内に掲示し、パンフレットにも掲載している。理念に基づき目標を設定し、ユニット会議や全体会議等で振り返り、具体的なケアについて意見の統一を図っている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会へ加入しており、集落の行事やリサイクル活動にも参加しています。</p>	<p>自治会に加入し、ホーム便りや回覧板等で地域と情報のやり取りを行っている。グランドゴルフやまぐろフェスティバルなど地域行事に積極的に参加したり、夏祭りなど事業所の行事にも小学生やボランティアなど多くの地域の人々の参加がある等、地域と親しく交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>高齢者元気アップ・ポイント事業の受け入れボランティア活動に加入しており、地域の方々との交流を大切にしています。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回地域の方々や行政、家族に出席してもらい、利用状況やサービス等を報告し、意見やアドバイスを頂きながら、サービスの向上に努めています。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告を行い、現在取り組んでいる内容についても意見を貰っている。災害時の協力についてやAED講習会の参加等、ホームについての理解を深めてもらっている。そこでの意見を支援に繋げている。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>必要に応じて相談や報告を行っており、その都度適切なアドバイス等を頂きながら、協力関係を築いています。</p>	<p>市担当者には認定更新時や必要に応じて情報を交換してアドバイスを貰っている。市主催の研修会や県や支部のグループホーム協議会にも積極的に参加し情報交換に努めている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止に向けて、毎月会議を開催しており、玄関の施錠も含めて身体拘束や行動制限のないケアに日々取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置しており、毎月の職員会議で研修や事例検討会を実施して職員の理解を深めている。ことばの拘束については気付いた時に職員同士で注意し合っている。外に出て行く利用者には話しかけたり一緒に散歩をするなど、制限のない自由な暮らしを支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体的虐待は勿論のこと言葉による心理的・精神的虐待も見過ごさないよう職員間でも十分に気をつけており、現在まで虐待は認められない。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>一年に一回、権利擁護・成年後見制度を学ぶための研修を行っています。本年度は11月に研修会を行う予定です。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に、重要事項説明書に沿って読み合わせを行い、時間をかけ説明して了承を得た上で署名・捺印を貰っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>来訪時等に状態報告を行うとともに、ご家族の意見や要望なども伺い、スタッフ会議等で検討している。 各ユニットの玄関にご意見箱を設置している。</p>	<p>日頃から話しやすい関係作りに留意している。利用者からは日々の関わりの中で意見を聞き、家族からは面会や電話・敬老会等の行事参加後も良い機会となっている。出された意見や要望等は職員で話し合い、運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者は、法人行事や当ホームの季節行事に参加し職員と交流する機会を設けている。管理者はスタッフ会議にて意見聴取している。また、管理者用の連絡ノートを用いている。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、スタッフ会議等で職員の気づきや意見・提案を聞く機会を設け、連絡帳を活用したりして、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者より法人事務長へ個々の勤務状態等報告している。職場環境の改善や人材育成に力を入れ離職者の減少に努めている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>様々な研修に参加できるようにしているが、人員の都合等もあり、全職員の研修参加ができていない。職員の疑問などには、その都度指導回答ができるよう努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に参加し定期的に研修やネットワーク作りを行っている。また、地域のケアマネ協議会等が主催する研修や交流会へも参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご本人やご家族と面談を行い、生活歴や要望、それぞれ思いなどを確認し安心した生活が送れるように努めている。 しかし、本人と家族の思いに食い違いなどがあり苦慮する場面も多い。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の抱える不安にしっかりと耳を傾け、信頼していただけるような関係づくりを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談を通じてご本人、ご家族の思いを確認し、満足していただけるサービスが提供できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その人らしい暮らしが続けられるように、一人ひとりお互い支えあいながら、信頼関係を築けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>様々な情報を共有して、ご本人にとって大切な存在として、ご協力を頂いている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人へ知人等の面会等が気軽にできるようにしている。また、家族との外出や外泊等の希望に添えるように支援している。</p>	<p>カラオケクラブの仲間など馴染みの友人知人の訪問を奨励し、継続的關係が途切れないよう働きかけている。手紙や電話の取次ぎなども行っている。行きつけの理美容院の利用や買い物・墓参・地域の行事参加・虫見物など、家族の協力を得たりして支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一同に会する機会は、食事やお茶の時以外少ないが2～3人の集まりがあり、それぞれに関係を保っている。しかし、認知力に差があり負担になる利用者には職員が対応して関係性が崩れないように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も、相談に応じ可能な限りフォローできる体制を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人・ご家族の意向を伺ったうえで、ご本人の日々の生活の中で表情や言動から心身状況を把握するよう努めている。	日々の関わりの中で、本人の希望を聞いたり、表情やしぐさなどから思いや意向の把握に努めている。把握した情報はケア記録で職員間の共有を図っている。意思疎通が困難な場合は、家族からの情報や職員間で話し合い利用者の視点に立って、本人本位の支援に結びつくよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の暮らしについては、ご本人からはもちろん、ご家族や居宅担当ケアマネ、身近な介護者から情報をいただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしの中で、出来る事と出来ない事を見極めて、その人らしく暮らしていけるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の気付きは、生活記録に記入し、申し送り等で職員間で共有している。その場で解決できない課題については、カンファレンスを行っている。話し合いの結果とご本人やご家族の意向などを反映した介護計画の作成に努めている。	本人や家族の意向を踏まえ、主治医の意見も取り入れ、スタッフ会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に日々の様子を記録し、月に一回ケアカンファレンスを行い3ヶ月毎にモニタリングを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々に応じたサービスが提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	豊かな暮らしを楽しむため地域の公園等を利用している。また、季節ごとに開催される地域行事等への参加に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	可能な限り、入居前のかかりつけ医との関係を継続、医師との連携に努めている。しかし、現病・既往歴によっては緊急時の対応等の為、協力医療機関への主治医交代もお願いしている。	本人及び家族の希望するかかりつけ医を基本にしており、定期受診及び緊急時の受診同行をホームで対応している。協力医療機関と24時間の協力体制を築いており、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師がいない為、かかりつけ病院の看護師に報告相談し、適切な医療や看護が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合、入院医療機関の担当医やMSWとの連携を図り、早期の退院に向け受け入れの態勢を整えている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に重度化に伴う対応について、文書にて説明を行い納得を得ている。また、入居中の状態報告を行うとともに今後、重度化した場合でも安心して過ごせるように他事業所とも連携を取っている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。ホームの方針として、重度化等の場合は法人内外の医療機関及び施設等と連携し、家族に選択肢の助言や話を行い、家族の意向に沿って対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアル作成し、冷静に対処できるように周知している。また心肺蘇生法（AED使用方法）の訓練も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練を定期的に行っている。</p> <p>また、運営推進会議にて消防訓練の報告を行い、有事の際の協力等をお願いしている。</p>	<p>年1回消防署立会いのもと、昼夜想定避難訓練と、さらに年1回自主訓練を行っている。訓練には運営推進会議参加者の協力がある。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、有線放送を利用し、地域との協力体制もできている。非常用の食料及び水等も準備されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーや人格を損ねない言葉かけや対応を心掛けているが、方言の使い方については苦慮する事もある。	利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを重視した言葉かけや対応に留意している。名前は「さん」付けで呼んでいる。排泄時は誇りを損ねないようにさり気ない声かけで誘導・見守りをしている。勉強会やミーティングで研修を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	押し付けや無理強いをせず、ご本人が自己決定できるようなかかわりに心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活リズムに合わせて自己決定できるような雰囲気づくりをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行きつけの美容室やビューティヘルパーを利用し、好みのヘアスタイルをしてもらっている。服も出来るだけ一緒に選んでもらうように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の食事状況に合わせた形態で提供している。また、BGMを流し、その時々話題で会話できるように雰囲気を作っている。 身体状況に応じて、できるだけお手伝いをもらいながら食事の準備や、片付けをしている。	旬の食材を使い利用者の希望を取り入れた献立や食事形態を工夫している。食器や箸は使い慣れた個人専用のものである。可能な範囲で準備や後片づけを職員と一緒にやっている。誕生会や季節の行事食・公園での弁当・外食等の楽しみに配慮した取り組みをしている。敬老会には家族や運営推進会議参加者も加わっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれに合った食事形態で提供し、偏食等にも代替え品にて対応している。また、疾患に応じた食事の提供に努めている。水分補給に対しても個々に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、磨き残しや義歯装着の確認を含め口腔内の状態の確認をしている。また、義歯使用者は就寝前には義歯洗浄剤も利用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	状態に合わせた下着や排泄用具を使用し、なるべくトイレで排泄ができるように、排泄パターンを知りトイレへの誘導を行っている。	排泄パターンや習慣を把握し、自尊心に配慮し、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。個々に合わせた排泄用品で対応している。布パンツの利用者が多い。また乳製品など食生活を工夫し自然排便を大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を十分に行い、排泄時等腹部マッサージを行い、散歩や運動等も積極的に行えるように心がけている。また、食事メニューへの配慮を行っている。緩下剤の使用については、担当医と連携して調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には、週3回で午後からの入浴になっているが、希望があればその都度入浴ができるようにしている。また、身体の汚染時等は状況に応じてシャワー浴を行い清潔が保てるように支援している。	入浴は週3回、午後を基本としている。利用者の体調や希望に添った入浴ができるように対応している。入浴を拒む人にもタイミングを見て声かけをしたり、同性介助など職員間で連携して状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの生活習慣や体調に合わせて、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬剤の説明書を個々にファイルし内容把握に努めている。また、処方変更等についてはその都度、申し送りにて周知状態の観察を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干しや皿拭き、調理の手伝い等して下さっている。天気の良い日は、ドライブや買い物、外食等行い気分転換を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	全ての希望には対応できないが、出来る限りは、散歩、ドライブ、外食等を行っている。その他季節の行事等、ご家族の協力も貰いながら参加できるように支援している。しかし、職員の人員により困難になる事も多い。	日常的には、近隣の公園等への散歩や買い物に出かけている。また個々人の状況に応じて少人数のドライブや外食に出かけるなど個別支援にも力を入れている。家族の協力で季節の行事や理・美容院、墓参にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所の金庫に預けている方がほとんどである。買い物や外出時は、財布を持ってもらい自分で支払をする機会を持つように心がけているが、認知機能の低下により金銭管理が出来ない方が増えている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙を書かれる方は少ないが、電話はいつでも掛けられる環境を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは、天井も高く明るく壁には、季節に合った装飾品を飾り季節感を出している。夏場は、西日が当たるため、すだれ等で工夫している。</p>	<p>リビングは広く、天井が高くゆったりとソファークーナー等でくつろげる。広い空間の壁には季節感のある作品や行事の写真が飾られ、居心地良く過ごせるように工夫されている。リビングからウッドデッキに出て外気浴や花の観賞などを楽しんでいる。2ユニット間の利用者の自由な交流も行われている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングで過ごされる方が多く、利用者同士楽しく会話したり、たまには言い合いをしたりと良い関係が出来ている。また、その時々で部屋で過ごしたり一人の時間も楽しんでおられる。また、ユニット間の行き来もあり、その時々で楽しんでいく。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ダンス、家族写真、テレビ等ご自宅でも使われていたものや馴染みのものを持ち込んでおられ、個性的な部屋になっている。</p>	<p>居室は畳敷きにベッドと押し入れが備えられ、車椅子や杖使用の利用者はフローリングマットを敷き込んでいる。使い慣れたテレビやダンス・鏡台・寝具・家族の写真等を飾って家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、本人が居心地良く過ごせるよう工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>見渡しがよく広い造りになっており、床や居室の出入り口にも段差がなくバリアフリーになっている。また、個々の動線を把握し障害物を取り除いている。日中は施錠せず開放的で、庭の花をいつでも摘んでくることもできる。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない